

活かそう! やえせの宝!

まちのブランドを発掘し、まちづくりと観光に活かす
「八重瀬ブランド発掘事業人材育成講座」が開催されました。

「八重瀬ブランド発掘事業人材育成講座」が開催されました。本講座は、町の基本目標である「共に考え行動する協働のまちづくり」の一つとして行われたもので、まちづくりには欠かすことのできない人材の育成(発掘)と連携を促進することにより地域力を高めようというのが大きなねらい。

1回目(2月20、21日)と2回目(3月13、14日)に分けて行われ、町民や事業所、商工会、役場職員など年齢も職業も異なる方々が公募によって自発的に参加し、まちづくりの手法や必要性などを互いに学び合いました。1回目の講座では「発見する・気づく」をテーマに地域めぐり、ワークショップを実施し、「現状の分析方法やイメージづくり、PRの方法など」基礎的な概念について理解を深めました。2回目の講座では「手法を知る、分析する、実践する」をテーマに、1回目の講座から得たことをもとにまちづくりに活かす具体的な手法として「持続可能な観光まちづくり」の企画書づくりを行いました。



人材も八重瀬の
貴重な宝。
写真に収めて
おこう!



成果報告で南カラPR

まちの資源を活かして特産品作りを進める「南国カラフルベジタブル」の事業成果報告会が開催され、レシピ集、ブランドマークなどを紹介し、広くPRしました。



町内の地域資源を活用して特産品作りを進める「南国カラフルベジタブル(南カラ)」(主催:八重瀬町商工会)の事業成果報告会が2月26日、具志頭農村環境改善センターで開催されました。商工会ではピーマンや紅芋、オクラ、ドラゴンフルーツなど町産の農産物を活用した新商品の開発、地元食材にこだわったレシピ集「わが家の自慢料理」の発行など事業を展開してきました。また、町特産品に用いるブランドマークも作成。八重瀬町の頭文字の「ハ」を逆さにして空に羽ばたく蝶をイメージし、八つのカラーで生物の多様性とこれから芽を出そうとする種子をデザイン。基本色の緑で自然の豊かさも表現しました。今後町産の推奨品のマークとして使用されていきます。報告会の会場には事業で開発された島トウガラシのオリジナルオイルや紅イモ発泡酒、パンやおでんなどが来場者に振舞われ紹介されました。

はじめまして、
八重瀬特産品の
新しいブランドマークです。



八重瀬町商工会で発行したレシピ集「わが家の自慢料理」と「やえせの暮らし」。町内各世帯に配布しています。



まちの仲間たち 4 東風平小学校 女子ミニバスケットチーム



「まちの仲間たち」のコーナーでは、スポーツや文化などで活動している学童チームを紹介しています。「私のチームも紹介して」という方は、次のお問い合わせ先までご連絡をお待ちしております。八重瀬町役場行政経営課 広報担当まで!
TEL: 998-2344 FAX: 998-4745

私たち、東風平小学校女子ミニバスケットチームは現在部員12名で月曜日休部以外の平日は東風平小学校体育館での基礎練習を中心に、休日・祝祭日には練習試合による実践を取り入れるなど、チームコーチや父母会また地域の方々から指導を頂き、大会上位進出を目指して元氣いっぱい楽しく活動しています。

日頃からお世話になってる方々へ感謝の気持ちを忘れずに、チームのキャッチフレーズである「場助入魂(バスケットたましい)」のような熱いチームづくりを心掛けています。皆さん!そんな私たちと一緒にバスケットをやってみませんか随時部員募集中なので興味のある方は、気軽に見学に来てください。

特別講演を開催 災害に備え地域のつながりを意識する



「災害時に生きる地域のつながり」阪神・淡路大震災の経験から」を演題にした講演が3月12日、具志頭改善センターで開催され、約90人が出席しました。「八重瀬ブランド発掘事業人材育成講座」の特別講演として開催したもので田尻佳史日本NPOセンター事務局長が登壇。田尻氏は「大規模の災害はいつ起こるか分からない。日頃からコミュニティをしっかりと持ち地域に目を向けることが被災を最小限に抑える決め手になる」と強く訴えました。